

# 今後の斎場のあり方を考える

～庄原市斎場再編整備検討委員会を設置～

市は、老朽化が著しい庄原市斎場（一木町）を新しく建替えるよう計画しています。

9月27日に庄原市斎場再編整備検討委員会を設置し、今後の斎場のあり方について議論しています。

庄原市斎場（一木町）

市民生活課生活安全係 ☎0824-73-1154

## 現状と課題

斎場は故人との最後のお別れをする大切な場所です。現在、市は旧市町ごとに1つずつ、計7つの斎場を設置しています。その中でも、庄原市斎場（一木町）は築後37年が経過し、建物や火葬炉の老朽化が非常に進んでいるため、今後火葬を行うことが困難になる恐れがあります。

また、他の斎場でも、待合室が無いため火葬が終わるまで一度自宅に帰らなければならぬといった、さまざまな課題があります。

## 検討委員会を設置し議論

施設に課題があることに加えて、葬儀の形式も時代と共に変わってきています。最近では家族葬といった新たなニーズも生まれてきており、こうした葬儀が行える場所がほしいという声もあります。

このような状況の中、斎場をより良い施設にしていくためにはどうすべきか、市民の皆さんと一緒にになって考えていくため「庄原市斎場再編整備検討委員会」を設置しました。市民団体などの代表者や自治振興区などが推薦する方で構成し、今後の斎場のあり方について議論していきます。

主な検討事項として、①庄原市に必要な斎場の数や場所、全体的な施設の整備時期を示した「庄原市斎場再編計画」の策定。②新しい庄原市斎場



第1回検討委員会の様子



第2回検討委員会 東城斎場の視察の様子

## 現在の進捗状況

第1回から第3回の検討委員会では、検討事項の①について議論しました。この計画では、老朽化が進んでいる斎場、待合室が無く利用しにくい斎場をいくつか統合して、より良い施設を整備していくことをを目指しています。

しかし、現在7カ所ある斎場を集約するための具体的な案を考えていくと、さまざまなメリットやデメリットがあることが浮かび上りました。この中で重要な問題として挙げられたのは、①庄原市は非常に広大な面積を持っているため移動が大変であること、

会議経過と今後のスケジュール		
回	開催日	内 容
第1回	9月27日	委員長および副委員長の選出 庄原市斎場再編計画(案)について提案 火葬や葬儀の実態を踏まえた上で、今後庄原市の斎場のあり方について考えしていくことの重要性を確認。
第2回	10月17日	現斎場の施設(庄原市斎場、西城斎苑、東城斎場)の視察 実際に現在ある斎場を視察することで、施設の課題を確認。
第3回	10月30日	現斎場の視察を受けて 庄原市斎場は緊急に整備する必要があること、地域のニーズを把握するアンケートの実施が必要であると提案。
第4回	11月12日	三次市斎場(悠久の森)の視察 近隣市町で最近整備された三次市斎場を視察することで、今後の議論のヒントを得る。
第5回	12月下旬(予定)	アンケート結果の集約
第6回～	24年度内(予定)	庄原市斎場再編計画の策定、庄原市斎場整備計画の策定

②高齢化が進み自宅や地域組合での葬儀が困難となってきたこと。

こうした現状を十分に考慮していくことが必要なため、今後は地域のニーズや意見をしっかりと聞き取り、議論を進めています。